

資料2

科学技術・学術審議会

基本計画特別委員会（第3回）

H.16.11.4

科学技術関係人材の育成と活用について

(概要版)

平成16年7月23日
総合科学技術会議

科学技術関係人材についての 検討事項

**世界水準の研究成果の創出とその活用
を推進するため、必要な科学者・技術者
及び専門家の育成・確保について**

(平成15年7月第30回総合科学技術会議決定)

現状・問題点

- 独創性、積極性、柔軟性、基礎学力等の不足
- 実践の基盤となる技術からの遊離
- 情報通信、ライフサイエンス、ナノテク・材料等の分野で良質な人材が不足
- 科学技術と社会の「橋渡し」人材が質・量ともに不十分

環境の変化

- 産・学双方から、国際的に活躍できる人材への要請
- 科学技術関係人材に関し各国が急速に政策を強化
(優れた人材を牽引する米国のシステム、
頭脳流出と各国の積極的対応)

科学技術創造立国の根幹は
科学技術の人材

科学技術関係人材に関する改革の基本認識

- ・ 「持続可能な発展」に不可欠な基盤として
人材の質的向上が必要
- ・ 行政、教育界、学界、産業界、ジャーナリズム等の壁を
越えた**統合的な政策** (各種制度・予算など) の推進
- ・ **世界に開かれたシステム**の中での切磋琢磨を通じた人材
の育成・活用に向け改革

改革の基本的方向

- 創造性豊かで、国際的にリーダーシップを発揮できるような**広い視野と柔軟な発想を持つ人材の育成**
- 人材育成の基軸として、**世界的に高水準の高等教育と、多様性や創造性を伸ばしてゆける初等中等教育**を目指した**教育改革**へ注力
- **多様な人材の交流と新たな経験を通じて、斬新な価値を創造できる研究教育の環境の実現**

人材育成に関する改革の方向と方策

(例)

- 広い視野、学際的分野の人材育成に向け、国際的に評価されている手法に基づくプログラム等を奨励・支援

(弾力的な履修形態の導入、技術経営教育の推進等)

- 揺るぎない基礎と進路意識を培う学部教育、高い専門性と広い視野を得られる大学院教育を目指した**改革の推進**
- 実践に基づく**創造力、国際的リーダーシップ**を育てるため**学生等の新たな体験の機会を拡大**
- **科学技術に興味や関心**をいただき、発展させてゆく能力を築くための**初等中等教育段階での取組への支援の強化**
- **科学技術ジャーナリスト等の育成と活躍の機会の拡大**

優れた人材の活用のための 改革の方向と方策

(例)

- 若手研究者に対する競争的資金の大幅拡充
- 優秀な人材が、有利な条件で他の組織に移動できる環境の整備
- 女性、高年齢研究者の能力を活かす環境の整備
- 優れた外国人の受入で大学等に国際的な研究環境を創出、アジア諸国の人材育成への貢献

今後の課題

- ・ 基本的統計や特色ある取組など**基本的データの整備**
- ・ 進捗状況、関係者からの意見聴取等による**フォローアップの実施**